

♡ 新人看護職員到達目標 ♡

- 1、基本的な技術を身につけ指導・助言を受けながらベットサイドケアが安全に出来る。
- 2、看護師としての役割を理解し、基本的な知識技術・態度を身につける。
- 3、支援を受けながら自己の課題に取り組むことが出来る。

新人看護師研修プログラム

新人研修スケジュール

| | 月別到達目標 | 方法 | 集合研修 | 院外研修 |
|-----|---|---|--|---|
| 4月 | 組織・社会人として職場環境に慣れる助言を受けながら基本的なベットサイドケアが出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、病棟でのオリエンテーション 2、病棟でのオリエンテーション 3、日々の目標設定がチームメンバーと共に出来る 4、先輩とペアで、2週間行動する 5、看護補助者・クラーク業務の業務分担を知る 6、医師の指示確認と報告が出来る申し送りの方法を先輩とともにを行う 7、電子カルテ・看護支援の入力作業先輩とともにを行う 8、経験した処置・技術のチェックリストを確認し、評価を受ける | 電子カルテ 看護支援システム 看護基準・記録 個人情報・接遇 創傷管理1 | 看護協会の役割と機能専門職と政策実現 4月18日 フィジカルアセスメント(基礎編) 4月19日 職業人としてのマナー 4月28日 |
| 5月 | 日勤の業務、基礎看護技術を身につけ見守りの中複数患者のベットサイドケアが出来る報告・連絡・相談が出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、日々の受け持ち患者の情報収集が出来る 2、複数の患者を受け持ち、看護介入の実践が出来る 3、入院時チェックリストを使用し、データベース・看護介入・計画立案が出来る。退院時に必要な手順に沿って退院処理が出来る 4、内服の投与管理をマニュアルに沿って実施する。注射の方法を理解し、指導のもと実施することが出来る 5、先輩に確認を受けながら看護必要度入力を開始する 6、指示された投与方法と投与量で、酸素投与できる必要にあわせて吸引の準備が出来る 7、経験した処置・技術のチェックリストを確認し、評価を受ける 8、集合研修に参加し、実践研修をうけたことを現場でも実践する | NST インスリン 創傷管理2 看護必要度 輸液ポンプ・シリンジ | 5月19日 医療安全 |
| 6月 | 日勤の業務、基礎看護技術を身につけ自立してベットサイドケアが出来る夜勤業務の流れをしるリアリティーショックを起こさない | <ol style="list-style-type: none"> 1、優先度、重要度を理解し、時間配分を行い行動することが出来るよう指導する 2、情報収集を基に、必要な処置・ケアが実施できているか確認する 3、麻薬・向精神薬の管理をマニュアルに沿って先輩と共に投与実施を行う 4、研修終了後の手順に沿って確認のもと輸液ポンプ・シリンジポンプの操作が出来る指示された投与速度を設定することができる 5、夜勤の練習に入るため、夜勤業務の説明を行う 6、経験した処置・技術のチェックリストを確認し、評価を受ける 7、看護必要度入力を見守りして行う | 食事・栄養に関する看護 リフレッシュ | 6月2日 院内感染予防 |
| 7月 | 急変時の対応が理解できる優先順位を付けて行動できる夜勤業務の練習に入る | <ol style="list-style-type: none"> 1、経験した処置・技術のチェックリストを確認し、評価を受ける 2、ダブルで夜勤業務の開始夜勤のオリエンテーション(個人に合わせて調整する) 4、急変時に必要な物品が揃えられる。 5、夜勤前・後での休息を十分に取る。 | | 7月 12・13日 フィジカルアセスメント(基礎編) 個別参加 7月22日 急変時看護 |
| 8月 | 看護必要度にあった記録が出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、看護必要度評価と記録の入力内容を確認する。 2、受け持ち患者のカンファレンス報告ができる | | |
| 9月 | 6ヶ月の振り返りが出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、集合研修に参加する 2、6ヶ月間の振り返りを行い自己の課題を明確にする | | |
| 10月 | 患者の状況に応じた看護展開が出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、症例報告に向けての事例を選定し、看護過程の展開ができる。 2、人工呼吸器患者の観察をマニュアル・集合研修で受けたことを理解し、行動する。 | 症例報告会 エンゼルケア | 10月21日 自己課題のための取り組み |
| 11月 | 患者・家族とのコミュニケーションを図ることが出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、退院調整など他職種との連携や家族との関わりなど受け持ち看護師としての仕事が理解できるように指導していく | | |
| 12月 | 他部門との連携がわかる | <ol style="list-style-type: none"> 1、ケースカンファレンスに参加するためのサマリーの作成を行う | | |
| 1月 | 急変時の対応が出来る。安全な看護が提供できる | <ol style="list-style-type: none"> 1、急変時の流れが理解できた多重課題シミュレーションを通して確認する | 多重改題 | |
| 2月 | 症例報告会のレポート作成が出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、個人ファイルの整理評価表の確認 評価表(自己・他者評価の確認) 2、振り返りシートの作成 | 症例報告発表会 | |
| 3月 | 1年を振り返り次年度の目標・課題を見出すことが出来る | <ol style="list-style-type: none"> 1、次年度の目標・課題の提出 | | |